

福祉

高齢者の交通支援について何か施策はあるか。

高齢者の移動手段の確保については、市が社会福祉協議会に委託して月に2回買い物移動手段のサービスをしています。今後更にニーズが高くなれば、これを拡大・拡充していきたいと考えています。

ホームヘルパーの講習会など、知識のない者に介護の知識・技術・メンタル的なことを講習してもらえないようなものはないか。

現在ホームヘルパーの講習会などは開催していませんが、自宅で介護をしている家族が集まり、情報交換や悩みを話し合う「認知症カフェ（介護者交流会）」を毎月1回設けています。アドバイスなどももらえると思いますのでご参加ください。お問い合わせは、包括支援センター（☎57・8511）までお願いします。また、具体的な方法で困りのことも同センターへ連絡してもらえれば、アドバイスをしています。



教育

学校での土曜日等授業の目的や内容は？

現在の週5日制において、子どもたちによって土曜・日曜の過ごし方に差があります。土曜日授業は、子どもたちの生きる力を育むことを目的とし、地域の方とのふれあいの場や学校と家庭とのより一層の連携強化につながる授業を目指します。

平成27年度・28年度に試行を行い、「土曜日等授業」実行委員会で成果と課題をまとめ、平成29年度から月1回程度をめどに、可能な回数で実施する考えです。



安岡多實男教育長

悩みを持つ若者と保護者の無料相談専門機関である「高知黒潮若者サポートセンター」が南国市にあります。この組織は、ニートや引きこもりへの予防と早期対応の観点から、県教育委員会の委託事業として設置されたものです。教育・福祉・医療・労働の関係機関と連携したネットワークを構築し、若者が学び直したり就労できるよう支援を行っています。今年から、香南市でも野市中央公民館と夜須中央公民館で毎月1回ずつ「出張サポートセッション」が開催されていますのでご利用ください。

義務教育の子ども以外で家に引きこもっている子どもの対策は何かあるか。

悩みを持つ若者と保護者の無料相談専門機関

高知黒潮若者サポートセンター



香我美小学校と岸本小学校の統合について。

岸本地区での懇談会で、児童数の減少が続いている岸本小学校の今後について、教育委員会から統合の方針を説明しました。統合の理由としては、地震・津波から子どもを守ることに、また児童数の減少により来年度から複式学級が2学級（現在は1学級）となり、教員数も減少するということを説明しました。

これに対し、出席者の皆さんから賛成反対を含め、さまざまなご意見をいただきました。教育委員会では、統合について今後も協議を重ねていきます。

その他

地籍調査について、山間部は高齢化により所有者の判明も困難になってきており、早く進めてほしい。状況は？

現在の進捗率は約23パーセントです。津波浸水区域から進めている状況で、最終は平成48年度を予定しています。



野中明和副市長

香我美町山南の工業団地への企業進出はどのようになっているか。

3社の審査が終わり、その内2社との売買契約が終わっています。この2社については、平成28年度には工場を建てて操業を開始する予定です。

三宝山の活用方法について教えてほしい。

現在、県、市、所有者である民間会社の三者で、どういった形の観光拠点として活用するのがふさわしいのかを協議しています。



現在は、買い物や通院・通学に使いやすいように、ごめん・なはり線との接続を基本として運行しています。ごめん・なはり線もできる限り他社路線バスとの連結を考えてダイヤを作成しています。市営バスは、3年に1度ダイヤの見直しを行っています。実際に職員が同乗して調査したり、中山間地域の方からも意見を聴取していますので、今後より乗り継ぎがしやすい運行ができるようにしていきたいと考えています。

ご参加ありがとうございました

地区懇談会の開催目的は、香南市が市民の皆さんに重点施策などを説明するとともに、地域と行政が膝を交えて、自由に意見を出していただき、生の声を行政の各方面に反映させていくことです。

皆さんからいただいたご意見や要望、提案は、内容を確認のうえ要点をまとめ、地区懇談会カルテを作成して主要な公民館に質問内容・当日回答・後日対応などを記載したものを設置していきます。

また、懇談会で即答できなかった課題は、現地確認を行い、地域支援課で取りまとめて各支所・担当課と協議してできる事案から対応していきます。

今後とも地域の皆さんの声が行政に反映できるように取り組んでまいりたいと考えていますので、次回は更に多くの方に参加していただくようお願いいたします。

地域支援課 ☎57・8503